

2008年10月30日

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」 ～運用状況のお知らせ～

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

米国でのサブプライムローン問題に始まる米国金融業界の混乱は、大手証券会社の経営破綻や大手保険会社への公的支援などの大きな問題にまで至った上、それらによる混乱は米国に留まらず欧州にも広がるなど沈静化の見通しは未だ立ってはおりません。このような状況により世界の経済成長は減速感を強めており、その影響は新興国を含め世界経済全体に波及しつつあります。

こうした中、投資家のリスク回避傾向が高まったことから主要国では国債が買われる(利回りが低下する)など、安全資産への資金流入が見られました。また、外国為替市場では、世界の金融システムが不安定となる中、消去法的に円が買われ、円が上昇しました。

この影響を受け、当ファンドが投資対象とする先進国の国債価格は軒並み上昇(利回りは低下)しましたが、為替市場でユーロや米ドルが売られ、同時にその他の投資対象国通貨も急激に円高傾向が進んだことから、基準価額は大幅な下落を余儀なくされました。

今後の投資環境など

為替市場では、このような状況の中、短期的に変動が大きくなることが予想されますが、金融不安解消に向け欧米各国は多くの対策を実施検討しており、楽観視はできないものの、徐々に落ち着きを取り戻すものと考えられます。

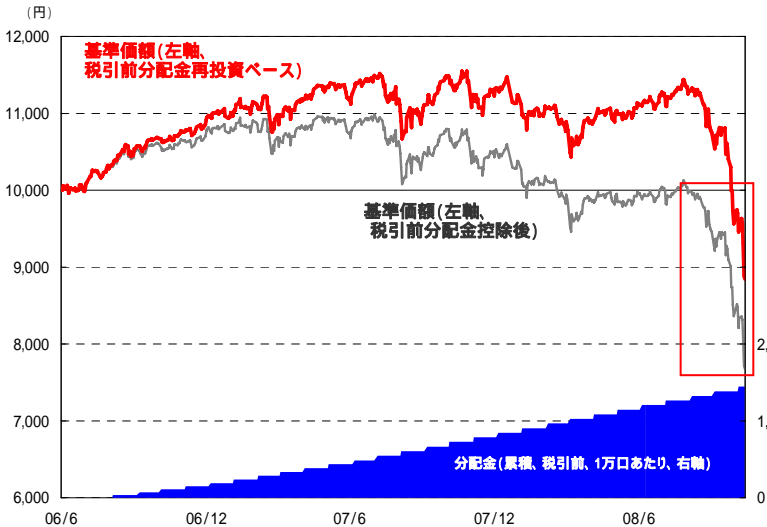
債券市場では、景気後退に伴ないインフレ率が低下すると考えられることなどから、各国(地域)とも政策金利の引下げに踏み切ると見込まれ(米連邦準備制度理事会(FRB)は、今月8日、29日に政策金利の引下げを決定。)、債券市場、特に国債の市場は安定した展開が期待されます。

今後も従来どおり、先進国に加えて新興国を含めた海外の債券(主に国債)を対象に幅広く分散投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を続けてまいります。引き続き「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」をご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。
以上

基準価額の下落要因 ~ 為替変動の影響が大 ~

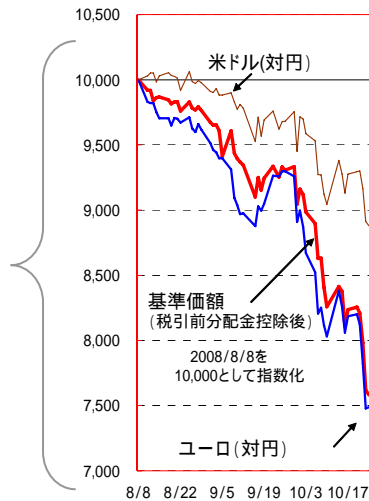
基準価額の推移

(2006年6月12日(設定日) ~ 2008年10月24日)



2008年8月8日以降の基準価額の推移

(2008年8月8日 ~ 10月24日)



要因分解	通貨要因(-1,941円)			債券要因(-309円)		分配金など(-198円)		合計
	ユーロ	米ドル	その他通貨	先進国	新興国	分配金	その他	
2008/8/8: 10,125円 2008/10/24: 7,677円	-1,135円	-457円	-349円	+212円	-521円	-180円	-18円	-2,448円

為替市場でユーロや米ドルが売られ、その他の投資対象国通貨も急激に円高傾向が進んだことが、当ファンドの大幅な基準価額下落の主な要因となりました。一方、先進国債券の利回りが低下(価格は上昇)し、下支え要因となりました。

基準価額は信託報酬(年率1.05%(税抜1.0%))控除後の1万口当たりの値です。税引前分配金を再投資したとして計算した理論上のものである点にご留意ください。上記グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。上記要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

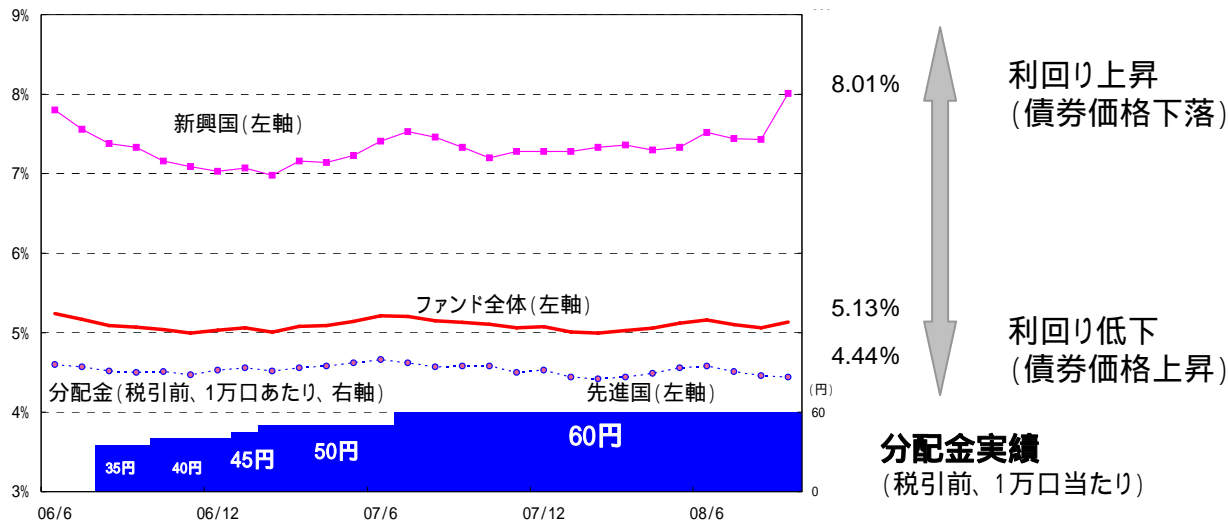
<ご参考>

主要指数	2008/10/23	2008/8/7	備考
米国10年国債金利	利回り 3.67%	からの差 -0.25%	金利低下(価格上昇)
主要為替相場(対円)	2008/10/24 仲値	2008/8/8 からの騰落率	備考
米ドル	97.32	-11.2%	円高
ユーロ	125.23	-25.1%	円高
英ポンド	157.08	-26.1%	円高

直接利回りは、安定して推移 ~ 魅力的な金利水準 ~

各マザーファンドの直接利回りと分配金実績の推移

(2006年6月末 ~ 2008年9月末)

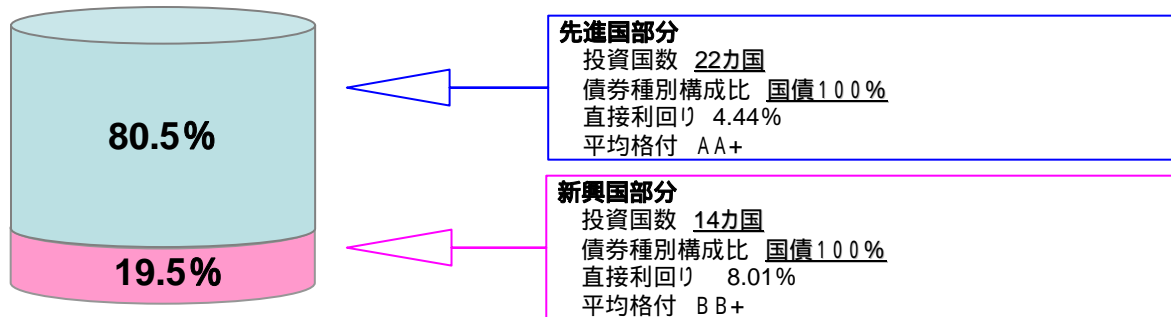


新興国: 海外新興国債券インデックス(ヘッジなし)マザーファンドの直接利回り 先進国: 海外債券インデックス(ヘッジなし)マザーファンドの直接利回り ファンド全体: 各マザーファンドの直接利回りと資産構成から計算 上記グラフ・分配金実績は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものと、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

当ファンド設定来、ファンドの直接利回りは、5%前後で安定しています。また、分配金は、2007年7月以降、毎月60円(税引前、1万口あたり)を継続しています。

投資対象は、世界各国の国債 ~ 信用リスクを抑えて、分散投資 ~

各マザーファンドの組入状況 (2008年9月30日現在)



当ファンドでは信用力の高い「国債」を主な投資対象としており、先進国と新興国を合わせた世界各国に幅広く「分散投資」を行なっております。

お申込メモ

- 商品分類** : 追加型株式投資信託 / バランス型 / 自動けいぞく投資適用
- お申込単位** : お申込単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
- お申込価額** : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日** : 取得申込日がニューヨーク証券取引所の休業日に該当する場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間** : 無期限(平成18年6月12日設定)
- 決算日** : 毎月16日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配** : 毎決算時に、分配金額は委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。
- ご換金価額** : 換金請求日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- ご換金不可日** : 換金請求日が、ニューヨーク証券取引所の休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い** : 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 課税関係** : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料** : お申込手数料率は2.1% (税抜2.0%) を上限として販売会社が定める率とします。
分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.2%の率を乗じて得た額(1口当たり)

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬** : 純資産総額に対して年率1.05% (税抜1.0%) を乗じて得た額
- その他費用** : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など
その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社** : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会
- 受託会社** : 日興シティ信託銀行株式会社
- 販売会社** : 株式会社ゆうちょ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第611号 加入協会: 日本証券業協会

お申込みに際しての留意事項

「投資信託に関する留意事項」

投資信託は預金・貯金ではありません。

投資信託の元本及び分配金の支払は預金保険法第53条に規定する保険金の支払の対象ではありません。

投資信託は元本の返済が保証されていません。

株式会社ゆうちょ銀行でご購入いただく投資信託は投資者保護基金による支払の対象ではありません。

株式会社ゆうちょ銀行は投資信託の販売を行い、投資信託の運用等は委託会社(運用会社)が行います。

郵便局株式会社は、株式会社ゆうちょ銀行から委託を受けて、投資信託の申込みの媒介(金融商品仲介行為)を行います。金融商品仲介行為に関して、郵便局株式会社は株式会社ゆうちょ銀行の代理権を有していないとともに、お客さまから金銭若しくは有価証券をお預かりしません。

投資信託の運用により生じた利益及び損失は、投資信託を購入されたお客さま(受益者)に帰属します。

当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みに当っては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

「リスク情報」

当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に債券など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与えます。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。一般に新興国の債券は、先進国の債券と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

一般に公社債の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)するリスクがあります。一般に新興国の債券は、先進国の債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高いと考えられます。

【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【カントリー・リスク】

投資対象国である新興国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

「その他の留意事項」

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みは

〔登録金融機関〕株式会社ゆうちょ銀行
関東財務局長(登金)第611号
〔加入協会〕日本証券業協会

〔金融商品仲介業者〕郵便局株式会社
関東財務局長(金仲)第325号